

## 悪天候でも稼働できる、蓄電池型太陽光発電ロープトローの普及を見据えた進化

### FUTURE LAB. 2026 joint with DRRREAM SESSION

3月20日～22日 湯殿山スキー場にて開催

Burtonは、DIGGIN' MAGAZINEが主催し、太陽光発電で稼働するロープトローを使ってスノーボード・スノースケート・スノートイを楽しむプロジェクト「Future Lab.」が、3月20日（金・祝）～22日（日）に山形県・湯殿山スキー場にて開催されるイベント「DRRREAM SESSION」とのコラボレーションという形で開催されるにあたり、特別協賛としてイベントをサポートいたします。

DIGGIN' MAGAZINE主催の「FUTURE LAB.」と題された“太陽光発電でロープトローを動かすチャレンジ”は、2022年3月に初めて開催され、今回で5年目を迎えます。ロープトローは、雪面上を滑走して移動する専用の搬器に、掴まる・跨がる・あるいは背中や腰にあてがうといった形で、利用者が雪面を滑りながら登る簡易リフトです。日本各地の雪国では近年、降雪の減少や施設の老朽化といった様々な要因により、ローカルスキー場が閉鎖されるケースが増加しています。また、莫大なコストがかかるリフトの稼働も、スキー場の経営を圧迫する大きな要因の一つと言えます。一方で、そうしたコンパクトなスキー場が、太陽光発電と蓄電を併用したり、バイオディーゼルを利用することで、コストを抑えて簡易リフトを稼働させることができるようになれば、スキー場経営継続の活路を見出したり、閉鎖されたスキー場跡地を有効活用したりする可能性もあると考えられ、このような事実を知っていただくことも、「Future Lab.」開催の大きな意義となっています。

そして昨年のイベントでは、太陽光発電のシステムに蓄電池を導入。積雪でパネルが覆われるほどの悪天候な日があったにもかかわらず、3日間の開催を通じてリフトが一度も止まらないという、初めての快挙を達成し、オフグリッドリフトの信頼性を実証しました。また、雪質によって発電量が大きく異なることも判明しました。ドライな雪はパネルを覆ってしまい、発電量が著しく低下しますが、水分量の多い雪の場合、パネル自体の熱で雪が溶けるため発電が継続され、曇天下でも使用電力を上回る発電を記録、蓄電に転じる場面もありました。このように、数年の積み重ねによって実用面における課題及び解決策の解像度を上げることにより、より現実的な運用に向かって更なる可能性を追求することができています。

イベントの主催者であるDIGGIN' MAGAZINEの小林大吾氏は、次のようにコメントしています。「どこかのスキー場に日本初となる完全オフグリッド簡易リフトが導入される。このプロジェクトが、その足がかりになれるように活動していきます」

「FUTURE LAB.」の挑戦は、「自然エネルギーだけで滑ることができるような未来が現実になるかもしれない」と期待させてくれる取り組みであり、Burtonでは、この取り組みに参加した人、情報を知った人、共感した人が未来を考え、行動するきっかけとなることを望んでいます。そして、一人ひとりの意識と行動が、気候変動に影響を与える大きな力となり、エネルギー問題を変えて、持続可能な未来に繋がること、それが持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進し、自然と共生する未来になると信じています。



Burtonの活動の全ては、ブランドが掲げる「[パーパス](#)」に基づいています。山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、「人」、「地球」、そして「スノーボード」のためにできることは何か？を常に追求し、行動に移しています。今シーズン展開されているプロダクトの一つ一つにも、それらの想いが込められています。

## Burtonのパーパスについて

私たちが目指す未来は明確です。  
関わる全ての人々にポジティブな影響を与えること。  
環境への負荷を最小限に抑えること。  
そして、思いっきりスノーボードを楽しむことです。

### 人々のために

人々を尊重するという事は、公正な賃金を支払い、責任ある調達を徹底し、誰もが歓迎されるコミュニティを築くことです。

### 地球のために

環境への負荷を最小限にする。そのために必要なことは、CO2の排出量を削減し、地球や人々にとって安全で、かつ長く使えるプロダクトを作ることです。

### スノーボードのために

私たちの使命は、スノーボードの未来を守り、誰もがライディングを楽しめる世の中にあることです。

## 2025ゴール

### クライメートポジティブに向かって

私たちは、2025年までのクライメートポジティブ達成を目指します。そのために、SBTi (Science Based Targets イニシアティブ) に沿ってカーボンフットプリントを削減し、その排出量を相殺するための投資を行い、そして気候変動を引き起こす構造レベルでの変革を提唱します。



### BurtonはBコーポレーション認証企業

「B Corporation (Bコーポレーション)」=「B Corp (Bコープ)」とは、米国の非営利団体B Labがおこなっている、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度。Burtonは、スノーボードカンパニーとして初めて2019年に認証を取得し、2024年には北米・ヨーロッパ・アジア太平洋エリアにおいて、Burton及びAnonブランドにて再認証されました。

## Burtonについて

[ジェイク・バートン・カーペンター](#)は、1977年にアメリカ・バーモント州のガレージでスノーボード作りを始め、Burton Snowboardsを設立。以後、生涯をスノーボードに捧げました。Burtonは、創業時より画期的なプロダクトライン、リゾートに対する草の根的努力、そしてトップレベルのチームライダーにより、スノーボードを裏山での遊び道具から、ワールドクラスのスポーツへと成長させることにおいて、極めて重要な役割を果たしてきました。現在は、スノーボードギアとアウトドアに関連する業界トップのプロダクトをデザイン、製造しています。アウトドア/ウィンタースポーツ業界のサステナビリティ・リーダーとして、スノーボードの企業として世界で初めてB-Corp認証を取得しました。Burtonはドナ・カーペンターにより所有されているプライベートカンパニーで、アメリカ・バーモント州バーリントンに本社、オーストラリア、日本、オーストラリア、カナダ、中国にオフィスを置いています。詳しくは[www.burton.com](http://www.burton.com)をご覧ください。